

平成 28 年度事業計画

1 法人として計画すること

- ① 社会福祉法人化を実現し、経理の外部委託、理事会、評議員会の定期開催などを行い、適正な運営を務める。
- ② グループホーム建築のための用地取得を行う。(建築は 29 年度以降の事業)
- ③ 分場(第 2 作業所)開設(9 月オープン予定)。分場開設に伴い定員の見直しを行う。
- ④ シーモック駐車場の整備。
- ⑤ 倉庫設置(作業場として活用)

2 通常の事業の計画

① 就労継続 B 型

ア) 調理室

分場開設(H28.9.1 予定)に伴い、菓子製造が 2 分化する。菓子の製造種類の振り分けと、製造工程の見直しを行う。引き続き、利用者のスキルアップをめざし支援していく。

イ) 袋室

今年度もより多くの作業種に携わり、確実性を高めていけるように支援していく。バザーやイベントに利用者も参加し、接客を通じて地域との繋がりを深める。日付印字機械 1 台を追加して、繁忙期の作業効率を上げていきたい。

ウ) 2 グループ

作業の中心として行っているクッキー詰めと、昨年度より開始したポスティング、受注作業(ワッペン)を継続して行っていく。食品乾燥機を使用して、いちじくなどの乾燥、袋詰めを新しく行っていく予定。その他の活用方法も考えていく。

② 生活介護

活動内容は散歩、体操、作業(リサイクル活動)を行う。今年度も引き続き、リサイクル活動で得た業者買い上げ金、市の助成金、受注作業(ワッペン)で得た賃金をもとにお楽しみ会を行う。1 日外出は利用者のペースに合わせた内容で行い、生活介護ならではの細やかな支援を行う。

③ ケアホームどんぐり

平成 27 年度末、利用者の入退所が 3 件あった。変化に伴い、生活の様子観察や健康管理を綿密に行いながら、きめ細かな支援を行っていく。新しい場所への移転を模索するなかで、今後の利用者の確保など事業展開を図りた

い。

⑥ 相談支援

今年度も引き続き、サービス等利用計画書の作成、モニタリング（利用者状況の把握・計画の見直し）を行う。一人一人のニーズに対し適切なサービスが受けられるよう、情報提供を行う。

⑦ 日中一時支援

月に2回、土曜日に余暇活動を行う。